

企画概要

グラントワ開館 20 周年記念

しまね伝統芸能祭 2025 オープニング公演

渡来バード、ドライバー

日 時:2025 年 4 月 27 日(日) 日没後 ※日没時刻 18:50 ごろ

会 場:島根県芸術文化センター「グラントワ」中庭 水盤

出演者:大口俊輔(音楽家)、福原千鶴(小鼓奏者)、志人(語部)、中山晃子(画家)

料 金:入場無料 / 申込不要 / 全席自由

グラントワ中庭広場を舞台に展開する創造作品『渡来バード、ドライバー』を「しまね伝統芸能祭 2025」のオープニング公演として開催します。国内外から注目を集める表現者4名が、島根県西部・石見(いわみ)地域に滞在しリサーチを実施、多様な伝統芸能の原点である自然・風土・生活文化へまなざしを向けた、新たな作品の創造に挑戦する試みです。



大口俊輔(音楽家)



福原千鶴(小鼓奏者)



志人(語部)



中山晃子(画家)

本公演の見どころ

[1] グラントワ中庭が一夜限りの特別な空間に

美術×音楽のインスタレーション作品としてグラントワを象徴する中庭を空間演出します。当日は、水盤に大きなスクリーンを設置します。画家・中山晃子さんがその場で描く色彩をスクリーンに投影、大口俊輔さんの音楽装置、福原千鶴さんの小鼓、志人さんの声が奏でる音楽と色彩が空間を包み、グラントワ中庭が一夜限りの特別な空間に変わります。水に映る夢幻の世界をぜひご体験ください。



中庭に立てたパネルに映像を投影し、演者は水盤のなかでパフォーマンスを行います。

※本図は構想段階のイメージ図です。実際の舞台とは異なる場合があります。



島根県芸術文化センター「グラントワ」中庭



©中山 見子

液体から固体までさまざまな材料をあつかい絵を描く中山見子さんのパフォーマンス「Alive Painting」のイメージ。色彩が渾然となり変化していく様を中庭水盤に立てたスクリーンに投影します。

[2] アーティスト4名が島根県に滞在し、石見の自然・歴史・風土・人々に触れることで生まれたインスピレーションを音楽と美術の形で表現します

島根県の民話「乙子狭姫」が作品の中核となるテーマとして登場するほか、リサーチの際に地域の人々から受け取った言葉や物語、採取した砂鉄や鳴り砂などの素材や音を作品に昇華し、発表します。新たな解釈・表現により、地域の魅力が掘り起こされ、未来に向けて新しい創造の可能性が広がることを目指す試みです。



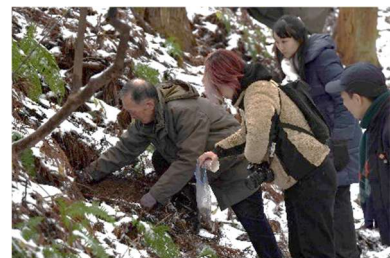
民話の会「石見」の語り部・石川さんの語りを聴く

乙子狭姫(おとごさひめ)…赤雁に乗って大陸から日本に穀物の種を伝えた小さな姫の伝説。はじめに見つけた小さな島で降りようとしたが断られ、比礼振山(現益田市)にやって来て、その里の人たちに種を分けた。その里がいまの[乙子町]で、種を伝えたから[種]という名前がつけられ、[赤雁]の地名も赤い雁が降りたことから付けられたとされる。



大田市・琴が浜にて砂の鳴り方を試す様子

リサーチ先:三瓶小豆原埋没林公園(大田市)、琴が浜の鳴り砂(大田市)、風の工房 石州勝地半紙(江津市)、大元神楽伝承館(江津市)、浜田市金城民俗資料館(浜田市)、石州和紙会館(浜田市)、石見の民話(民話・わらべ歌研究家(元島根大学法文学部教授)酒井董美、民話の会「石見」)、佐毘売山神社(益田市)、蟠竜湖(益田市)



大漕鉄穴場跡にて浜田市金城民俗資料館の隅田さん案内のもと砂鉄を採取する様子

主 催:島根県・(公財)しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場/島根県民会館)

共 催:芸術文化とふれあう協議会

【本公演に関するお問合せ】島根県芸術文化センター「グラントワ」担当:文化事業課 新田

[TEL] 0856-31-1861 [FAX] 0856-31-1884

[Email]nitta@cul-shimane.jp